

基準地番号		提出先	所属分科会名		業者名	さとう不動産鑑定士事務所											
八王子（都）－58		東京都	多摩第7分科会		氏名	不動産鑑定士 佐藤幸秀											
鑑定評価額		24,300,000 円				1㎡当たりの価格				128,000 円／㎡							
1 基本的事項																	
(1) 価格時点		令和 6 年 7 月 1 日		(4) 鑑定評価日		令和 6 年 7 月 2 日		(6) 路線価	[令和 6 年 1 月] 路線価又は倍率		円／㎡						
(2) 実地調査日		令和 6 年 6 月 12 日		(5) 価格の種類		正常価格			倍率種別		1.1 倍						
(3) 鑑定評価の条件		更地としての鑑定評価															
2 鑑定評価額の決定の理由の要旨																	
(1) 基準地	①所在及び地番並びに「住居表示」等		八王子市長房町1481番19						②地積(㎡)		190 ()		⑨法令上の規制等				
	③形状		④敷地の利用の現況		⑤周辺の土地の利用の状況		⑥接面道路の状況		⑦供給処理施設状況		⑧主要な交通施設との接近の状況		1 低専(40,80) 高度(1種)				
	1.5:1		住宅 L S 2		中規模の一般住宅が建ち並ぶ住宅地域		南東6m市道		水道 ガス 下水		高尾 1.5km		(その他)				
(2) 近隣地域	①範囲		東 100 m、西 100 m、南 50 m、北 50 m						②標準的使用		戸建住宅地						
	③標準的画地の形状等		間口 約 16.0 m、奥行 約 12.0 m、規模 190 ㎡程度、形状 長方形														
	④地域的特性		特記事項		特記すべき事項はない。		街路		基準方位 北 6 m市道		交通 高尾駅北東 1.5km		法令 1 低専(40,80) 高度(1種)				
	⑤地域要因の将来予測		既成の住宅地域で地域要因に特段の変動要因はみられないため、当面は現状のまま推移するものと予測する。														
(3) 最有効使用の判定		戸建住宅地						(4) 対象基準地の個別的要因		方位 +4.0							
(5) 鑑定評価の手法の適用		取引事例比較法		比準価格 128,000 円／㎡													
		収益還元法		収益価格 / 円／㎡													
		原価法		積算価格 / 円／㎡													
		開発法		開発法による価格 / 円／㎡													
(6) 市場の特性		同一需給圏は西八王子駅及び高尾駅を駅勢圏とする郊外の住宅地域である。需要者の中心は、都心方面への通勤者や市内及び周辺多摩地域に居住する一次取得者層及び買替層である。中規模の戸建住宅が建ち並ぶ居住環境の比較的良好な地域であり、住宅需要は概ね安定している。地価は緩やかな上昇傾向である。需要の中心的な価格帯は、土地は1000万円台後半～2000万円台前半、新築戸建住宅は3000万円台～4000万円台である。															
(7) 試算価格の調整・検証及び鑑定評価額の決定の理由		周辺には地主等によるアパート等の賃貸物件も若干見られるが、地域性から土地価格を含んだ収益物件の採算確保が困難な地域であり、現在は収益目的の新規土地取引が少ない地域であるので、収益価格の試算は行わなかった。自用の戸建住宅の取引が中心となって地価が形成されている住宅地域であるので、市場性を反映した比準価格を重視し、周辺標準地及び指定基準地との検討を踏まえ、最近の市場動向にも十分留意して鑑定評価額を上記のとおり決定した。															
(8) 公示価格を標準とした価格	① <input type="checkbox"/> 代表標準地 <input checked="" type="checkbox"/> 標準地 標準地番号 八王子 - 112		②時点修正		③標準化補正		④地域要因の比較		⑤個別的要因の比較		⑥対象基準地の規準価格(円／㎡)		⑦内訳	標準化補正		街路 0.0 地域要因 街路 -3.0	
	公示価格 108,000 円／㎡		[101.5] 100		[105.0] 100		[86.3] 100		[104.0] 100		126,000			交通 0.0 交通 0.0		環境 -11.0 環境 -11.0	
(9) 指定基準地からの検討	① 指定基準地番号 八王子（都） - 49		②時点修正		③標準化補正		④地域要因の比較		⑤個別的要因の比較		⑥対象基準地の比準価格(円／㎡)		⑦内訳	標準化補正		街路 0.0 地域要因 街路 -3.0	
	前年指定基準地の価格 138,000 円／㎡		[103.6] 100		[101.0] 100		[113.0] 100		[104.0] 100		130,000			交通 0.0 交通 0.0		環境 +12.0 環境 +12.0	
(10) 対象基準地の前年の検討	①-1対象基準地の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 新規				③ 変動状況 価格形成要因の		[一般的要因] 市内住宅地の地価は二極化がみられるものの、全体的に良好な住宅需要に支えられ、概ね緩やかな上昇傾向である。										
	前年標準価格 124,000 円／㎡						[地域要因] 最寄り駅からやや離れているが、住環境は比較的良好な地域で、地価は緩やかな上昇傾向。地域要因に特に変化はみられない。										
	①-2基準地が共通地点（代表標準地等と同一地点）である場合の検討 <input type="checkbox"/> 代表標準地 <input type="checkbox"/> 標準地 標準地番号 - 公示価格 円／㎡						[個別的要因] 個別的要因に変化はない。										
	②変動率		年間 +3.2 % 半年間 %														